

名張毒ぶどう酒事件・奥西 勝(89)、袴田事件・袴田 巖(79)



仙台弁護士会  
死刑を考える映画上映会

# 「ふたりの死刑囚」

2016年8月20日(土)

参加費 無料  
せんだいメディアテーク  
7Fスタジオシアター

- 1回目 午後1時～
- 2回目 午後3時30分～

上映時間 85分  
事前申込不要 (1回の定員 180名)



再審への扉——。いまだ、開かれず

# ふたりの死刑囚

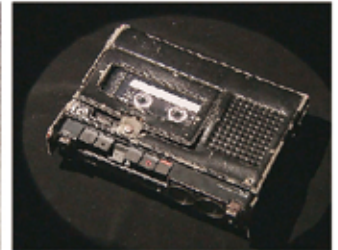
『約束 名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯』東海テレビ最新作

ナレーション: 仲代達矢 プロデューサー: 齊藤潤 音楽: 本多俊之 音楽プロデューサー: 岡田こずえ 撮影: 坂井洋紀 音声: 福田健太郎 オーサリング: 山口幹生 スクリプター: 須田麻記子  
音響効果: 久保田吉根 CG: 東海タイムルーン 題字: 山本史風 監修: 門脇康郎 映像協力: テレビ静岡、フジテレビ、アニドゥ・フィルム 写真協力: 中日新聞社 編集: 奥田繁  
監督: 鎌田麗香 制作・著作・配給: 東海テレビ 配給協力: 東風 2015年/85分/HD/16:9/日本



## 2014年3月27日、ひとりの死刑囚が釈放された。

袴田巖（79歳）。昭和41年、静岡県清水市（当時）の味噌会社で4人の焼死体が見つかった「袴田事件」。袴田は確定死刑囚となった。再審開始の決定は、有罪の決め手になった血に染まった衣服のDNA鑑定の情報性。48年ぶりに釈放された袴田は、3歳年上の姉と生活を始めた。しかし、自由になったはずの袴田も、検察の即時抗告によって再審は始まっていない。いまだ死刑囚であることに変わりはなく、年金もなければ、選挙権もない。長年の拘置所生活による拘禁反応で、精神に障害が残っている――。



## 2015年10月4日、ひとりの死刑囚が獄死した。



奥西勝（享年89歳）。昭和36年、三重県名張市の小さな村の懇親会で、ぶどう酒を飲んだ女性5人が死亡した「名張毒ぶどう酒事件」。奥西は35歳で逮捕され、死刑が確定したが、獄中から無実を訴え続けた。半世紀に及ぶ独房生活、その間、奥西は2桁を越える囚人が処刑されるのを見送った。ここ3年間は、八王子医療刑務所で寝たきりの生活を送っていた。奈良県の山村に暮らす4歳年下の妹が、兄の無実を信じ、片道5時間をかけて八王子へ通い続けていた――。

ふたりの冤罪を訴え続ける死刑囚とその家族の人生から浮かび上がるのは、「法治国家」日本の司法が裁いた、否、犯した罪だ。製作は東海テレビ放送。『約束 名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯』の齊藤潤一が本作をプロデュースし、そのメガホンを鎌田麗香が引き継いだ。同作で奥西勝を演じた仲代達矢がナレーションをつとめる。奥西の無念の死を受け、緊急公開を敢行する。

[www.futarinoshikeisyu.jp](http://www.futarinoshikeisyu.jp)

主催

# 仙台弁護士会

問い合わせ先 仙台弁護士会

仙台市青葉区一番町2丁目9-18 TEL 022-223-1001

参加費 無料 事前申込 不要

